

長期的スパンで 強固に積み上げる

宮下 真一

私が大学の教員になったのは、今から6年前にさかのぼる。当時は大学院を出てすぐの赴任で、何もかもが初めての経験だった。そして今年、本学に赴任し、新しい授業や研究、学内業務にチャレンジできる環境をいただいた。4月はさまざまなことに慣れるだけで精一杯ではあるが、2回目の新入社員気分を楽しんでいるところである。

一般企業では今年もたくさんの新入社員を迎え、トップが訓示を行った。たとえば、ある家電業界の社長は、「[バスに乗り遅れるな]ではなく、バスの前を走らねばならない」と話し、時代後れの考え方やシステムを維持する受動的な姿勢ではなく、変化を創り出す心意気の必要性を指摘した。また、百貨店業界のある社長は、「変化しないリスクを恐れ、真の顧客満足に挑戦してほしい」と述べて、顧客の視点に立った店舗運営の重要性を説いている。さらに、衣料品専門チェーンの社長は、「一つのことを極めるには10年かかるだろう。自分が何をやりたいか見極めて努力してほしい」と話している。

日本の企業を取り巻く環境は、人口減少社会、少子高齢化の進行に伴って、国内市場は飽和状態となり、厳しい状況が続いている。競争に勝ち抜くためにはグローバル化や情報化など、取り組まなければならない課題が山積している。また、日本は中小企業が多いため、規模の大きい欧米企業と対峙するには企業の合従連衡が不可欠である。仮に、業績が堅調な企業でも、気を緩めれば一気に失速し、他企業と形勢が逆転することになるかもしれない。そういう環境の中、企業は、時代の流れを読み瞬時に対応する能力と共に、短期間で移り変わる時流に流されることなく長期的スパンで物事を見据える能力をも求めているようである。

このような企業の新入社員が置かれている状況と大学教員である私の立場は、必ずしも同じものではない。しかし、私にも参考になる部分は大いにある。私は企業間ネットワークにおける在庫極小化問題を扱うサプライチェーン研究に従事している。サプライチェーンは流通と交通の境界領域であるので、常に新しい視点を探しつつモデルを形作っていく必要に迫られている。一方、研究の型は一朝一夕に完成するものではなく、長期的スパンで一つ一つ積み上げ強固にしていくものでもある。

今年、政策創造学部は約500人の新入生を迎えた。彼らとともに新たな気持ちで、新しい政策創造学部を作りに上げていく一助になればと考えている。

(政策創造学部准教授)

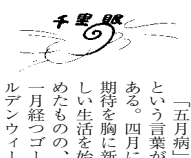
HEADLINE

14 7 5 4 2
6
9
8 10 11
面 面 面

特集 学関西大学と学福武学園が合併へ
一人ひとりのキャリアデザインを完全バックアップ!
特集 平成19年度学関西大学予算について
特集 「関西大学の経営理念・基本方針」に基づく行動計画について
特集 総合関関戦を応援に行こう

(大津留北川智恵子)

「五月病」という言葉がある。四月に期待を胸に新しい生活を始めたものの、一月経つころから、ストレスのためにやる気を失う現象だと言われる。▼一人暮らしを始める、長距離通学を始める、新しい友達と出会う、厳しそうな教授の授業を聞くなど、新学期を迎えた学生は生活環境も大きく変わり、それだけにストレスも大きい。▼しかし、実は教員も五月病になることがある。今年の学生はどんなだろう、今年はこんなふうにと、授業を憂えてみようと、新年度に備えた教員も「期待を胸に」教室へと向かう。そこで目を輝かせた学生と出会う、七月までの授業は生きてくる。が、何を考えているのかつかめない集団に向かっていると、期待は重圧となる。▼この授業を選んだのはなぜですか? 平凡な質問だが、必ず初回の授業で尋ねることにしている。学生と教員との間に接点があると、双方にとってストレスはかなり解消できる。大学も人と人が作る場であり、そこでのコミュニケーションはとても大切だと感じている。



「五月病」という言葉がある。四月に期待を胸に新しい生活を始めたものの、一月経つころから、ストレスのためにやる気を失う現象だと言われる。▼一人暮らしを始める、長距離通学を始める、新しい友達と出会う、厳しそうな教授の授業を聞くなど、新学期を迎えた学生は生活環境も大きく変わり、それだけにストレスも大きい。▼しかし、実は教員も五月病になることがある。今年の学生はどんなだろう、今年はこんなふうにと、授業を憂えてみようと、新年度に備えた教員も「期待を胸に」教室へと向かう。そこで目を輝かせた学生と出会う、七月までの授業は生きてくる。が、何を考えているのかつかめない集団に向かっていると、期待は重圧となる。▼この授業を選んだのはなぜですか? 平凡な質問だが、必ず初回の授業で尋ねることにしている。学生と教員との間に接点があると、双方にとってストレスはかなり解消できる。大学も人と人が作る場であり、そこでのコミュニケーションはとても大切だと感じている。

学校法人関西大学と学校法人福武学園が合併へ

来年4月 スポーツの北陽高校が関大第二の併設高校に

学校法人関西大学と北陽高等学校を設置する学校法人福武学園は、平成二十年(二〇〇八年)四月一日を期日として両法人を合併させることについて合意に至り、去る三月十五日に基本契約を締結した。合併後、学校法人福武学園は解散し、同法人運営する北陽高等学校は名称を「関西大学北陽高等学校」に変更し、学校法人関西大学の二番目の併設高校となる。

1 合併の経緯

北陽高等学校は、大正十一年(一九二〇年)三月に設立された八十一年の歴史を有する男子校で、これまで三万人を超えるOBを世に送り出している。

「知徳体の調和のとれた人間育成を教育理念とし、文武両道、質実剛健の伝統を今に継承している。スポーツの北陽として、有名で、特に今年は、第七十九回選抜高等学校野球大会へ出場し、校内も野球部の奮闘に沸き立っていた。

教育面では、創立八十周年を機にコース制を再編するとともに平成二十年年度から共学化を進め、生徒一人ひとりの個性を磨き、学力

2 合併の主旨

今日、学齢人口減少に伴い、関西大学も高等学校も厳しい競争にさらされている。大学と高等学校が緊密なネットワークを構築し、相乗効果を発揮することにより、お互いの発展につながる取組が各地で進められている。このたび関西大学と北陽高等学校は統合し、福武学園から統合の申し入れがあり、検討を重ねた結果、これを受諾することになったが、その最も大きな理由は福武学園の建学の精神・教育理念に賛同したからである。すなわち、福武学園は本学の理念である「学の実化」を創設した山岡順太郎学長の子弟が創設した学園で、山岡順太郎の理想とした教育理念がこころに思いついており、本学の併設校たるにふさわしい学園であると判断したからである。

3 関西大学との縁と北陽高等学校の教育理念

関西大学と北陽高等学校とは深い縁がある。北陽高等学校は、大正十四年に北陽育の奨励を教育の柱として、山岡順太郎の理想として、文武両道、質実剛健の伝統を今に継承している。北陽高等学校は、本学の理念である「学の実化」を創設した山岡順太郎学長の子弟が創設した学園で、山岡順太郎の理想とした教育理念がこころに思いついており、本学の併設校たるにふさわしい学園であると判断したからである。

4 今後の計画

平成二十年、北陽高等学校は、男女共学による関西大学北陽高等学校として、新たな一歩を歩み始めることになる。百二十一年の歴史と伝統を有する関西大学の自由で活潑な教育改革については、関西大学としてもできるだけの支援を行い、生徒のニーズ

5 おわりに

今回、学校法人福武学園が解散され、その後の北陽高等学校の将来を学校法人として、関西大学の総合学舎としての一層の発展を期するのである。

代の流れのなか、一旦は枝分かれした川が八十一年の旅路の後に合流したかの感がある。北陽高等学校の充実発展のため力を尽くすことにより、関西大学の総合学舎としての一層の発展を期するのである。

(総合企画室)



学校法人関西大学 学校法人福武学園
合併基本契約書調印式

北陽高等学校の概要

- 立地
 - 【所在地】 大阪市東淀川区上新庄1丁目3番26号
23,024.76㎡(6,977.2坪)
(阪急京都線「上新庄駅」南出口から南へ徒歩8分)
 - 【校外施設】 摂津市東別府3-688
13,490.73㎡(4,088.1坪)
(阪急京都線「正雀駅」から南へ徒歩20分)
- 校名の由来

「山の南を陽と名づく」という古辞により、千里山の南(陽)、淀川の北に位置することから、「北陽」と名付けられた。

- 生徒募集内容(2007年度)
 - 普通科 300人
 - アドバンスコース 80人
(2008年度入学生から共学化の予定)
 - スタンダードコース 160人
 - キャリアコース 30人
 - スポーツコース 30人
- 教職員数(2007年4月1日現在)
 - 専任教員:45人、常勤教員:5人、非常勤教員:15人、事務職員:6人、合計71人
- 主なOB
 - 阿部基吉氏(元日本弁護士連合会会長)、稲野治兵衛氏(元学校法人関西大学理事長、元毎日新聞社代表取締役専務取締役)、岡田彰布氏(プロ野球監督)、西村昭宏氏(プロサッカーGM)、小西浩文氏(登山家)

北陽高等学校の課外活動

- スポーツクラブ

サッカーの北陽、野球の北陽とよく言われる。サッカー部は30回以上の全国大会出場、また硬式野球部も春夏合わせて10回以上の甲子園出場を果たしている。両クラブのOBの中にはJリーグやプロ野球で活躍している選手もいる。時々Jリーグの選手がグラウンドに来て熱心に後輩を指導する姿を見かけることもある。
- ▶硬式野球部

【大会実績】
甲子園14回出場 夏6回、選抜8回
全国 準優勝/1回、ベスト4/2回
近畿 優勝/3回、準優勝/5回
- ▶サッカー部

【大会実績】
全国大会 34回出場(総体21回、選手権10回、全日本ユース5回)
全国 優勝2回、準優勝1回、3位5回



- ▶ジャズバンド部

ジャズバンドは吹奏楽部と違い、ジャズを中心とした演奏をするためのフルバンドである。活動は多方面にわたり、高い評価を得ている。

【活動実績】
スチューデントフェスティバルにて(日本学校ジャズ教育協会会長賞、神戸市長賞優秀賞、神戸市民文化振興財団賞、サンテレビ賞、パークリー音楽大学特別賞)
全国選抜スチューデントフェスティバル出場



再編、カリキュラムの充実等の必要な体的方策を鋭意検討するものとす

「知徳体の調和のとれた人間育成を教育理念とし、文武両道、質実剛健の伝統を今に継承している。スポーツの北陽として、有名で、特に今年は、第七十九回選抜高等学校野球大会へ出場し、校内も野球部の奮闘に沸き立っていた。

教育面では、創立八十周年を機にコース制を再編するとともに平成二十年年度から共学化を進め、生徒一人ひとりの個性を磨き、学力

関西大学と北陽高等学校とは深い縁がある。北陽高等学校は、大正十四年に北陽育の奨励を教育の柱として、山岡順太郎の理想として、文武両道、質実剛健の伝統を今に継承している。北陽高等学校は、本学の理念である「学の実化」を創設した山岡順太郎学長の子弟が創設した学園で、山岡順太郎の理想とした教育理念がこころに思いついており、本学の併設校たるにふさわしい学園であると判断したからである。

平成二十年、北陽高等学校は、男女共学による関西大学北陽高等学校として、新たな一歩を歩み始めることになる。百二十一年の歴史と伝統を有する関西大学の自由で活潑な教育改革については、関西大学としてもできるだけの支援を行い、生徒のニーズ

今回、学校法人福武学園が解散され、その後の北陽高等学校の将来を学校法人として、関西大学の総合学舎としての一層の発展を期するのである。

代の流れのなか、一旦は枝分かれした川が八十一年の旅路の後に合流したかの感がある。北陽高等学校の充実発展のため力を尽くすことにより、関西大学の総合学舎としての一層の発展を期するのである。

(総合企画室)

関西大学と北陽高等学校とは深い縁がある。北陽高等学校は、大正十四年に北陽育の奨励を教育の柱として、山岡順太郎の理想として、文武両道、質実剛健の伝統を今に継承している。北陽高等学校は、本学の理念である「学の実化」を創設した山岡順太郎学長の子弟が創設した学園で、山岡順太郎の理想とした教育理念がこころに思いついており、本学の併設校たるにふさわしい学園であると判断したからである。

平成二十年、北陽高等学校は、男女共学による関西大学北陽高等学校として、新たな一歩を歩み始めることになる。百二十一年の歴史と伝統を有する関西大学の自由で活潑な教育改革については、関西大学としてもできるだけの支援を行い、生徒のニーズ

関西大学と北陽高等学校とは深い縁がある。北陽高等学校は、大正十四年に北陽育の奨励を教育の柱として、山岡順太郎の理想として、文武両道、質実剛健の伝統を今に継承している。北陽高等学校は、本学の理念である「学の実化」を創設した山岡順太郎学長の子弟が創設した学園で、山岡順太郎の理想とした教育理念がこころに思いついており、本学の併設校たるにふさわしい学園であると判断したからである。

平成二十年、北陽高等学校は、男女共学による関西大学北陽高等学校として、新たな一歩を歩み始めることになる。百二十一年の歴史と伝統を有する関西大学の自由で活潑な教育改革については、関西大学としてもできるだけの支援を行い、生徒のニーズ

キャリアセンター



入学から卒業後まで 一人ひとりのキャリアデザインを 完全バックアップ!

新学期が始まって1カ月…。みなさんはどんな1年にするために、どのような計画を立てましたか?

大学生活の4年間は、長いようで短く、短いようで長く、感じ方は人それぞれです。ただ、みなさんが「何か」を成し遂げ、成長するには十分な時間であることは確かです。ただなんとなく大学生活を終えるのではなく、いつか大学生活を振り返った時に、自分らしい有意義な時間であるようにしたいものです。その内容や方法はひとそれぞれですが、限られた時間の中でしっかりと「自分らしさ」に磨きをかけてください。

卒業後の進路や、いずれその時期を迎える就職活動について不安を抱えている人も多いかもしれませんが、しっかり準備さえしてお

けば心配することはありません。いつの時代も同じですが、社会は目標をしっかりと持ち、それに向かって努力する習慣のある学生を求めています。なぜなら、社会人になった後の仕事もその繰り返しだからです。逆に、その習慣が身につけていない人は難しい進路選択や就職活動を迎えることとなります。

自分の目標に向かって何かを始めようとする時、その時期がく早過ぎるなんていうことはありません。また、進路は就職活動だけで決まるものでもありません。キャリアセンターでは、みなさんの進路選択における「安心」と「自信」をサポートします。今回はキャリアセンターが誇る1年次生から卒業後までの段階に応じたサポートプログラムを紹介します。みなさん! ぜひ有効に活用してください!

サポートプログラムを体験して

小西 由美
〈株式会社資生堂勤務〉
2006年3月法学部 法律学科卒業



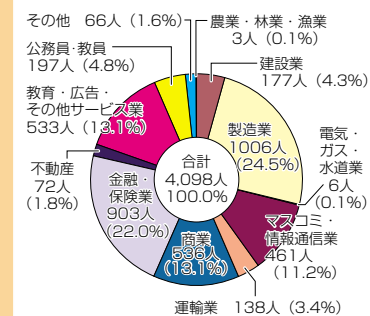
業界研究、個別企業研究、自己分析など就職活動に活かせる多彩なキャリアサポート。

関西大学のキャリアサポートは、種類が豊富なおうえに、一歩踏み込んだ「使える」内容が特徴。たとえば「業界研究会」は、業界の客観的な状況が聞けるから情報収集に最適です。気になる企業の人事担当者についてじっくり話を聞いたら「企業研究会・合同企業研究会」がオススメです。仕事内容、配属先、福利厚生などについて、つっこんだ質問もできます。また模擬面接は、企業の人事担当者が教壇に立って「人事が見る視点」で指導。選考側の気持ちがつかめ、すごくいい勉強になりました。もう一つ、3年次就職ガイダンスでの「自己分析」も見逃せません。必ず就職活動に活かしてください。

主な就職先 (平成18年度)

(文系・総合情報学部)	(工学部)
建設業 株式会社工務店 製造業 アサヒビール(株) 花王(株) カゴメ(株) キリンビール(株) サントリー(株) 株式会社資生堂 シャープ(株) 積水化学工業(株) ソニー(株) 積水化学工業(株) 武田薬品工業(株) トヨタ自動車(株) 日立製作所 本田技研工業(株) 松下電器産業(株) 電気・ガス・水道業 関西電力(株) 東京ガス(株)	建設業 鹿島建設(株) 株式会社工務店 製造業 キヤノン(株) 京セラ(株) シャープ(株) 住友電気工業(株) 積水化学工業(株) ソニー(株) 大日本印刷(株) 株式会社東芝 トヨタ自動車(株) 日産自動車(株) 日本電気(株) 任天堂(株) 日立製作所 富士ゼロックス(株) 富士フイルム(株) 富士通(株) 本田技研工業(株) 松下電器産業(株) 松下電工(株) マツダ(株) 三菱重工(株) 三菱重工(株) 電気・ガス・水道業 関西電力(株) 北海道電力(株) マスコミ・情報通信業 西日本電信電話(株) 日本アイ・ピー・エム(株)
運輸業 全日本空輸(株) 西日本旅客鉄道(株) 日本航空 東日本旅客鉄道(株)	運輸業 全日本空輸(株) 東海旅客鉄道(株) 西日本旅客鉄道(株) 金融・保険業 野村證券(株) 大和証券グループ本社 野村證券(株) 三菱東京UFJ銀行
公務員・教員 大阪府教員 大阪府警察官 大阪府職員 国家公務員II種	公務員・教員 大阪府教員 大阪府警察官 大阪府職員

平成18年度業種別就職状況



関西大学の取り組みが 文部科学省「現代GP」に採択!

本学のこのようなキャリア教育プログラム(K-GEP)への取り組みが、文部科学省「平成18年度現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」に採択されました。このプログラムを通して、学生が将来の働き方・生き方について主体的に考えるよう働きかけ、自律型社会人の育成をめざしており、他大学のモデルとなり得るプログラムであると考えています。

1・2年次生 始める

「就職活動なんてまだ先のこと…」なんて思っているキミ。キャリアデザイン(進路形成)はすでにこの時期から始まっているのです。就職活動はキャリアデザインの一部に過ぎません。この時期はいろいろなことにチャレンジし、自分の成長に繋がる経験をたくさん積んでください。その経験の中こそ、みなさんの進路選択へと繋がるヒントがあるので。授業、クラブ、サークル、アルバイト…。みなさんが充実した時間を過ごしながら無理なく<進路>を意識できるよう、キャリアセンターでは「キャリアプランニングセミナー」、「ジョブスタディ」を開催しています。まずは気軽に参加してみよう!

キャリアプランニングセミナー

目的別に4つのシリーズに分けて開催します。

■ベシックシリーズ
これから目標を定めたい人、何から取り組んでよいかわからない人のために職業興味検査や性格検査、ワークシート等を用いて職業適性や職業についての理解を深めます。

■自己分析シリーズ
自分らしいキャリアの発見をめざすための少人数制セミナー。自己分析を深め、キャリアの方向性を探索していきます。

■コミュニケーションスキルシリーズ
自己表現力、②職業能力・資質の向上、③自己理解を深めることを目的に実施する体験学習シリーズです。

■仕事研究シリーズ
さまざまな職場で活躍中の本学OB・OGによる「ミニ講演&懇談会」。パンフレットやWEBとは異なるナマの声を聴くことができます。また、6月には対象を1・2年次生に限定した本年度初の特別企画を行います。



1・2年次生限定! 仕事研究シリーズ特別企画 ~現役採用担当者による異業種パネルディスカッション~

日程	6月13日(水) 12:30~14:00
会場	千里山キャンパス百周年記念会館
参加企業	株式会社伊勢丹 近畿日本ツーリスト株式会社 コクヨ株式会社 帝人株式会社
定員	800人

*申込方法等の詳細は「KIPS」で確認してください

3年次生 鍛える 考える

就職活動を見据えながら自分の進路の方向性が定まりつつあるこの時期。実際の就職活動の進め方、マナー、採用試験対策などに関するセミナーが目白押し。就職活動に乗り遅れることのないよう積極的に参加しましょう!

就職(進路)ガイダンス

4、7、9、12月の年4回開催。就職活動の進め方、キャリアセンター主催行事、企業の採用活動動向などを説明します。就職活動に乗り遅れないためにもこのガイダンスには必ず参加しましょう! もちろん、教員・公務員をめざす人向けの内容も含まれています。



就職活動スタート講座

自己分析、業界、企業研究、そして面接…。自分に合う進路を選択するために社会の仕組み、環境、それらを踏まえた就職活動の進め方についてわかりやすく解説します。また、ビジネス社会において役立つ電話の受け答え方などのマナーとコミュニケーションについても実践を交えて説明します。

ジョブスタディ

各業界トップ企業と関西大学共催による手作り異業種合同セミナーを秋に開催予定。業界の垣根を越えた各企業の人事採用担当者やみなさんとのコミュニケーションの場を設けます。パネルディスカッション形式での「本音トーク」の展開を予定しており、きつくと働く>ということを感じられることでしょう。



インターンシップ

実際に企業や自治体、学校などで仕事を体験することができ、進路を考えるうえで貴重な経験になることで注目度の高いインターンシップ。本学は平成9年に全国の大学の中でいち早くこの制度を導入し、実習団体数、派遣学生数ともに全国トップクラスの実績を誇っています。目的に応じ、ビジネスインターンシップ、国際インターンシップ、学校インターンシップなどがあります。就職活動に先立って「仕事の現場を見てみたい」という人はぜひチャレンジしてみてください。

就職模擬試験・筆記試験対策講座

就職活動において第一関門となる筆記試験。近年はその種類も多様化しています。苦手意識や不安を抱えている人も多くいます。キャリアセンターでは各種筆記対策のための模擬試験・対策講座を開催します。筆記試験には早めの対策が大切です(申込制・有料)。

学内セミナー

業界研究会(10~12月)
業界のリーディングカンパニーから講師を学内に招いての業界説明会。例年立ち見が出る程の人気企画です。
合同企業研究会
関大生を求めている企業(期間中約700社)の採用担当者が、企業概要はじめ採用計画を説明します。就職活動に役立つ話が満載です。



しごとの現場体験ツアー

製造業、ホテル、銀行など普段見ることのできない仕事の現場を訪問。当日は見学のみならずOB、OGへの質問会も開催。体験学習的に業界研究が可能なイベントです(申込制)。

4年次生 決める

昨今は企業の採用活動のスタートが早まってきており、4~5月には内々定の声が聞こえてきます。ただし、すべての企業の採用活動が終了するわけではありません。まだ内定をもらえていない人もまだまだこれから! この時期に決まることがほんの一握り。焦らずに活動を継続しましょう。キャリアセンターでは5月以降もセミナーを開催し、卒業までみなさんの進路決定をバックアップします。

合同企業セミナー

関大生に対する企業の熱い求人の思いはまだ続きます。こうした企業のうち、学生の人気が高い企業を期間中約270社を選出、本学に招いて採用セミナーを開催します(5月・6月・9月予定)。例年、学生と企業双方から評判の高いイベントで、多くの学生がここで内定を得ています。



公務員試験対策

各種公務員採用試験の説明会を春と秋に学内で開催しています。この説明会は申し込み不要で1年次生から自由に参加できます。また、キャリアデザインルームには、公務員関係の図書・雑誌、過年度の募集要項などを配架していますので、キャリア相談などと合わせて活用してください。さらに、エクステンション・リードセンターでは公務員講座を開講しています。*「公務員講座」についてはエクステンション・リードセンターに問い合わせください。

教員採用試験対策

キャリアセンターでは、教員をめざす学生のために「教員採用試験対策講座」を開講しています。これは、正規の授業とは別の特別講座として10月から翌年6月まで開講しており、教員採用試験に合格するためのノウハウをさまざまな角度から学習することができます。また、本学では文学部の初等教育学専修以外の学生が現役で小学校教員をめざすには「小学校教員資格認定試験」に合格して二種免許を取得する方法と、教務センターが実施している「小学校教諭(一種)免許取得プログラム」を受講する方法の2つがあります。キャリアセンターでは「小学校教員資格認定試験」に向けた対策コースを設けていますのでぜひ活用ください。*「小学校教諭免許取得プログラム」については教務センターに問い合わせください。

転職・再就職の相談に応じます 卒業生就業支援室のご利用を

キャリアセンターでは、「卒業生就業支援室」を設け、株式会社パソナのグループ会社である株式会社関西雇用創出機構と業務提携を行い、卒業生の就業支援を行っています。

充実した環境でバックアップします

キャリアデザインルーム

みなさん一人ひとりが将来に抱えている不安を気軽に相談できる関西大学ならではのスペシャルルーム。

- 「キャリア相談」…進路に関する悩みをキャリアデザインアドバイザーの先生が個別に相談に応じます(要予約)。
- 「教職相談」…教員をめざす人の強い味方である専門のアドバイザーの先生が担当し、採用試験に向けての勉強方法や面接対策など懇切丁寧に指導します。

高槻キャンパス・工学部分室

総合情報学部、工学部・理工系3学部学生のキャリア形成や就職活動を力強く支援するため、キャリアセンターのスタッフがそれぞれ常駐し、進路決定や就職活動のための支援を行っています。また、就職情報資料室およびキャリアデザインルームの機能も併せ持っています。

開室時間	<高槻キャンパス分室> 月~水・金曜日…9:00~17:00 木曜日…9:00~19:00 (12:30~13:30は昼休み) ※土日は閉室
	<工学部分室> 月~土曜日…9:00~17:00 (12:30~13:30は昼休み) ※日祝日は閉室

東京センター/中之島センター

首都圏における就職活動支援の場として、東京駅前に「東京センター」を設けています。情報検索用のパソコン利用のほか、就職関連誌の閲覧、学割証や成績証明書などの各種証明書の発行も可能です(ただし、就職相談は受け付けていません)。

また、大阪「中之島センター」は法科大学院のリーガルクリニックの拠点として知られていますが、大阪市内の就職活動の拠点としても活用されています。



関大オリジナルツールを活用しよう!

KIPS(関西大学インターネット学生就職支援システム)

- 関大生なら誰でもいつでも利用できる便利な就職支援サイトです。主な特徴として…
 - ①約1万8,000社の企業情報が閲覧できます。
 - ②本学に届くすべての求人情報の検索が可能です。
 - ③1・2年次生にも役立つイベント情報を掲載しています。
 - ④就職・進路に関するさまざまな学内行事を関大生のためだけにタイムリーに掲載しています。
- また、就職活動中の卒業生も利用可能です(利用に際しては登録が必要です)。



PLACEMENT BOOK

関大生の就職活動に必須のツール「PLACEMENT BOOK」。マニュアル編は就職活動のすべてが持ち運び便利な手帳サイズにわかりやすくまとめられており、10月の進路登録票提出時に配布します。データ編は先輩の進路をさまざまな角度から統計した資料となっており、千里山キャンパス就職情報資料室、および高槻キャンパス分室で閲覧できます。



学校法人

関西大学

平成19年度予算について



理事長
森本靖一郎

① 予算編成の概要

平成十九年度予算は、大まかに、
学予算委員会、法人予算会
議の審議を経て、理事會平
議十九年一月二十五日、評
議會(平成十九年二月二
十一日)で議決、承認され

「世界へ」をスローガンに掲
げ、国際貢献、国際交流の
部(化学生命工学部の三
人福武学園(大阪府東淀川
区上新庄二丁目三番二十六
号)は、平成二十年四月一
日を期日として両法人を合
併することについて合意に
至り、基本契約を締結しま
した。合併後、学校法人福
武学園は解散し、同法人が
運営する北陽高等学校は
「関西大学北陽高等学校」
に名称を変更しました。
本年度の事業計画は、次
の2事業計画の概要を
のとおりですが、厳しい財
政状況について、本学関係者
の理解と協力を得て、今後
とも厳正で効果的な予算執
行を行い、財政の健全化と
財政基盤の強化に向けてさ
らに努力する所存です。

経済学部では、平成十九
年度入学生から専修制(四
年次分属方式を採用し、経
済戦略専修、社会経済専
修、ビジネス会計専修、イ
ンターフェイシャル専修を
設置しました。
大学院における教育改
革
平成二十年四月に、文学
部研究科および社会学研究
科の心理学を統合すること
により、心理学研究科を設
置し、その下に認知・発達心
理学専攻、社会心理学専
攻、臨床心理専門職業人養
成専攻(専門職大学院)の
三専攻を設置する準備を推
進しました。
カシニア層の教育の展
開
社会の高齢化が急速に進
んでいく中で、知識の獲
得に積極的な多数の「アク
ティブシニア」を大学に迎
え、既存の太学修学年齢層
との交流により生じる相乗
効果を期待し、財団法人社
会開発研究センターと連携
して「カレッジリンク型シ
ニア住宅」入居予定者を対
象とした多様な分野で、共
同研究の充実を図ります。

研究支援体制の充実
研究推進委員会と研究支
援センターが協力し、教員
の研究活動の総合的かつ効
率的な支援を推進し、研究
体制の層の充実を図りま
す。また、外部資金の導入
促進に関しては、同センター
において、グローバル
OEプログラム等への組織
的対応を図ります。
「IT化推進プロジェクト」
の構築
「IT化推進プロジェクト」
のもと、平成十八年度
から平成二十一年度までの
五年間で、学生、父母、校
友などの「関大ファミリー
ポータル」を構築するなど
、金型ITツール構築を進め
てまいり
ます。「東京センター」の拡
充・整備
東京センターは、平成十
九年三月に東京駅日本橋口
直結の「サピオタワー」に
移転しました。センターの
規模を拡大し、首都圏にお
ける更なる事業の充実を図
ります。

関西大学から世界へ



第四学舎三号館と宇野二ニスコート、屋内練習場(平成二十年三月竣工予想図)

② 事業計画の概要

平成十九年度における教育研究活動の事業
計画の主なものは、次のとおりです。

① 教育研究活動関係

ア 高槻新キャンパス事業
から市民への「知の還元」と
平成二十一年度までに認可
申請を行い、平成二十二年
四月に高槻新キャンパスを
設置することをめざします。
イ 政策創造学部の開設
平成十九年四月に政策創
造学部を収容定員千四百人
高等学校の「二十一年一貫教
育」を展開すること、「安
全」「防災」「危機管理」に
関わる専修科、大学院を設
置すること、また、大学が

② 教育研究施設の整備充実関係

ア 第一学舎一号館建て替
え工事
既に耐用年数を経過し、
耐震上も早急に整備する必
要があることから、現在の
第一学舎一号館を解体処分
して、法学部、文学部およ
び平成十九年四月に開設し
た政策創造学部が主に使用
する学舎として建て替いま
す。建て替えに際しては、
高度情報化教育への対応
学部教育の充実を図るた
め、一般教室のほか、実験
実習・語学教室、食堂・
喫茶などの学生アメニティ
施設および会議室などを配
備し、鉄骨・鉄筋コンクリ
ア造六階建、延床面積約
一万一千三百平方メートル
に建築します。
イ 第四学舎三号館建築工
事
平成十九年四月からの工
事として、新たに室内練習
場を設けるなど、課外活動
の整備・充実を図ります。
また、本建物の屋上に硬
式テニスコートを設ける
ことにも、新たに室内練習
場を設けるなど、課外活動
の整備・充実を図ります。
また、災害時には緊急避難場所などに利用
すること地域貢献も推進
します。

ウ 千里山北広場造成工事
千里山中体体育館の東側
にあり、学生等のアメニテ
ィとしてなど多目
的に利用できる約七千二百
平方メートルの広場を整
備します。また、災害時に
は緊急避難場所などに利用
すること地域貢献も推進
します。

抜き取って
お読みください

収支予算の概要

平成19年度資金収支予算は、「資金収支予算」のとおりで、これを総括したものが表1です。

1 資金収支予算について

資金収支は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入などの法人に帰属する収入のほか、借入金収入、前受金収入なども含め、四百六十五億八千五百円となりました。この結果、差し引き年度不足資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費、施設設備費のほか、借入金返済などの支出も含め、四百八十九億八千九百円となりました。この結果、差し引き年度不足資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費、施設設備費のほか、借入金返済などの支出も含め、四百八十九億八千九百円となりました。この結果、差し引き年度不足資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費、施設設備費のほか、借入金返済などの支出も含め、四百八十九億八千九百円となりました。



東京センター（赤枠部分）



2 消費収支予算について

平成19年度消費収支予算は、「消費収支予算」のとおりで、これを総括すると、表2のとおりとなります。

＜表1＞ 資金収支予算総括表

科目	平成19年度予算	平成18年度予算	増減
前年度繰越支払資金	17,733	21,421	△3,688
資金収入	46,585	43,971	2,614
資金支出	48,989	47,659	1,330
収支過不足	△2,404	△3,688	1,284
次年度繰越支払資金	15,329	17,733	△2,404

(注) 平成18年度予算は、第1次補正後予算です(以下同じ)。

＜表2＞ 消費収支予算総括表

科目	平成19年度予算	平成18年度予算	増減
A 帰属収入	42,267	40,298	1,969
B 基本金組入額	△9,698	△8,467	△1,231
C 消費収入(A+B)	32,569	31,831	738
D 消費支出	38,945	37,860	1,085
当年度消費収支差額(C-D)	△6,376	△6,029	△347
前年度繰越消費収支差額	△10,054	△4,025	△6,029
翌年度繰越消費収支差額	△16,430	△10,054	△6,376

学校法人関西大学 平成19年度予算について

は、授業料、入学金、実験費、職員人件費、役員報酬、退職金などです。教育研究経費支出は、各学舎一号館外構工事、第四学舎三号館外構工事などで必要な消耗品や業務委託費などが主な支出です。設備関係支出は、第一学舎一五号館電話交換機、第一学舎一四号館建て替え工事および第四学舎二号館建築工事などに伴う機器備品購入などです。

平成19年度消費収支予算は、「消費収支予算」のとおりで、これを総括すると、表2のとおりとなります。

消費収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入などの法人に帰属する収入のほか、借入金収入、前受金収入なども含め、四百六十五億八千九百円となりました。この結果、差し引き年度不足資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費、施設設備費のほか、借入金返済などの支出も含め、四百八十九億八千九百円となりました。この結果、差し引き年度不足資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費、施設設備費のほか、借入金返済などの支出も含め、四百八十九億八千九百円となりました。

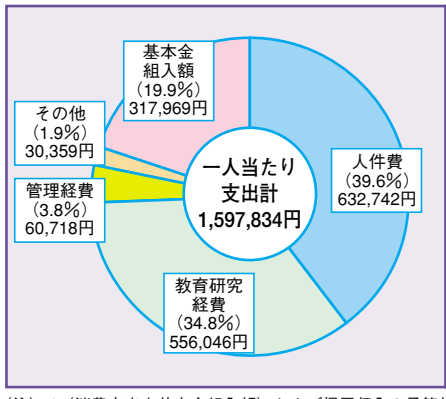
5 おわりに

平成19年度は、大卒全入「一世紀総論(学園)」へ成熟時代の到来の年であり、飛躍して行くため、教育「研究」「社会貢献」の三つの使命を果たすべく、経営と教育が一体となって形成に主体的に参画する強い関心を育成する「二十

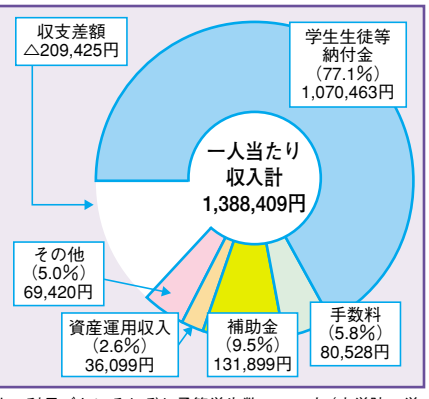
構造に向けて邁進します。平成19年度以降の財政見通しは、高橋新キャンパスにおける学舎の改築、IT化の推進などに伴う多額の支出が必要となる。一方収入財源は、十八歳人口の大幅な減少による影響を受け、学生生徒等納付金を中心とする帰属収入の確保が、今後の本学財政の要となります。

また、関西大学ウェブサイトを「http://www.kansai-u.ac.jp/zaimu/」にてお持ち帰りください。

(消費支出+基本金組入額)



(帰属収入)



(注) 1 (消費支出+基本金組入額) および帰属収入の予算額を、科目ごとにそれぞれ予算学生数30,443人(大学院・学部・高校・中学・幼稚園の学費納入者合計)で除して、学生生徒等一人当たりの平均値を示したものである。
2 「基本金組入額」とは、校地、校舎、機器備品、図書などの取得、あるいは、そのための借入金の返済、または将来取得のための積立金などの主として資本的支出に充てる額である。

平成19年度

「関西大学の経営理念・基本方針」に基づく行動計画について



第1学舎1号館(外観イメージ)

この「行動計画」は、平成17年5月に公表した「関西大学の経営理念・基本方針―強い関西大学」の構築に向けて―に基づき、本学における経営・教学事項について、学内状況はもとより、大学を取り巻く環境や社会情勢をも総合的に勘案して改めて検討した結果、短期1年(平成19年度)、中期4年(平成20年度から平成23年度まで)の行動実施として更新したものである。(総合企画室)

I 「強い関西大学」の構築に向けて

1 経営理念

これらの社会をリードする創造性に富んだ人材、国や地域、社会の発展に主体的に参画する「強い関大」を育成することを決意した。

2 基本方針

この経営理念を実現するうえで必要となるさまざまな政策を執行するために、新しい「公共」を創造する力強い「公共」を創造する「基本方針」を策定した。とりわけ、財政基盤の安定を経営の根幹と捉え、組織人事、施設設備、IT基盤などの各機能が経営理念の実現を支えることに基づき、経営・教学が中長期的にめざすべき具体的な基本方針を策定した。

【経営事項】

- ・経営方針の確立
- ・財政基盤の確立
- ・全学体制の確立
- ・学内教職員の意識改革
- ・学生支援の向上および事務の効率化のための事務組織改革
- ・ステークホルダーに対する説明責任の情報の開示
- ・マーケティングを意識した情報発信
- ・大学の社会的責任(USR)を意識したコンプライアンス体制の確立
- ・大学の危機管理体制の整備
- ・高槻新キャンパス構想の推進
- ・キャンパスブランドデザインの策定
- ・幼稚園の経営改善
- ・幼児園の経営改善

【教学事項】

- ・教学方針の確立
- ・教員組織の改革
- ・教員組織の改革 教員数および教員配置の見直し
- ・改組・改編など既存学部・研究科の改革推進
- ・グローバルCOEへの積極的申請
- ・重点化による世界水準の研究と外部資金の獲得
- ・研究支援体制の整備充実
- ・および研究所の統合
- ・国際交流の新たな展開
- ・地域連携の推進
- ・学生・生徒の課外活動の振興
- ・入学試験制度改革
- ・キャリア教育の推進
- ・IT・デジタル化の推進
- ・産学官連携と知財戦略の推進
- ・高大連携の推進
- ・高大十年一貫教育の検討

3 長期的視点による構想

(一)現在推進している構想

学校法人制度の改善を期する私立学校法の改正、国立大学の法人化は、戦略思考に基づいた経営の発進を教育機関に求めている。その要請に応えるには、中長期的な経営課題を探索し、迅速に達成する体制の構築と構成員の情熱が不可欠である。本法人は、課せられた社会的責任を果たすため、中長期戦略構想策定体制を構築するとともに、経営戦略課題を探索し、中長期の目標を掲げ、その実現に向けて、現在努力を続けている。

(二)高槻新キャンパス構想

初等教育から大学院社会人教育までの生涯一貫教育構想を実現する本構想について、平成二十一年度までの役割を果たし得る防災

(三)センター機能の持たせ

センター機能を持たせるとともに、大卒から市民への「知の還元」として、生涯学習の拠点となるよう学舎内に生涯学習センターを設ける。

(四)既存学部の改編

を明確にしている。その目的を達するため、関西大学戦略会議の下に「長期ビジョン検討委員会」を設置し、十年後の関西大学を見据え、学舎法人全体の長期ビジョンの策定を平成十九年度中に具現化する予定である。

II 経営理念および基本方針を達成するための行動計画

経営理念および基本方針を達成するためには、ロードマップ(改革行程表)を戦略的に策定し、中長期計画から年度計画につなげていく必要がある。

戦略的とは、経営理念・ドマップ(改革行程表)を戦略的に策定し、中長期計画から年度計画につなげていく必要がある。

4 行動計画

中長期戦略構想策定体制

中長期戦略構想策定体制は、本学が進むべき方向性を表すものである。一方、「行動計画」については、時代や社会の変化、学内外の情勢などを総合的に勘案し、更新していくべきものである。

【経営理念・基本方針】

「経営理念・基本方針」は、本学が進むべき方向性を表すものである。一方、「行動計画」については、時代や社会の変化、学内外の情勢などを総合的に勘案し、更新していくべきものである。

【経営理念】

これらの社会をリードする創造性に富んだ人材、国や地域、社会の発展に主体的に参画する「強い関大」を育成することを決意した。

【基本方針】

この経営理念を実現するうえで必要となるさまざまな政策を執行するために、新しい「公共」を創造する力強い「公共」を創造する「基本方針」を策定した。とりわけ、財政基盤の安定を経営の根幹と捉え、組織人事、施設設備、IT基盤などの各機能が経営理念の実現を支えることに基づき、経営・教学が中長期的にめざすべき具体的な基本方針を策定した。

【行動計画】

経営理念および基本方針を達成するためには、ロードマップ(改革行程表)を戦略的に策定し、中長期計画から年度計画につなげていく必要がある。

裏面に短期1年の計画、中期4年の計画の詳細を掲載しています 抜き取ってお読みください

『関西大学の経営理念・基本方針』に基づく行動計画について

短期1年の計画(平成19年度)

【経営】

- (1)ユニバーシティ・ガバナンスの再構築
- (2)大学教育職員の定年制度改革について平成20年度導入の検討
- (3)学校法人の長期ビジョンの策定
- (4)学校法人福武学園との合併に係る「合併推進協議会」の開催
- (5)法務室の設置
- (6)関西大学 USR(大学の社会的責任)の検討
- (7)キャンパスブランドデザインに基づく学内施設の戦略的整備
 - ①第1学舎1号館(法学部、文学部、政策創造学部等が使用)建て替え
 - ②第4学舎3号館(理工学学部等が使用)建築
- (8)エクステンション・リードセンター事業における既存講座、重点講座の強化・充実、新規講座の検討
- (9)東京センターのサビタワ(「JR 東京駅日本橋口直結」)への移転拡大(平成19年3月28日移転)に伴う事業拡充(公開講演会、公開セミナー、産学連携等)
- (10)大阪市内における本学拠点としての中之島センターの利用促進

【大学】

- (1)教学委員会の設置
- (2)研究推進委員会の設置
- (3)大学の長期ビジョンの策定
- (4)自己点検・評価体制の見直し
- (5)学部・大学院 機構・センター・研究所の新規事業

【法学部・法学研究科】

- ①法科大学院進学支援の一環としての法科大学院進学相談室(仮称)の設置
- ②各入試理念の実効的実現を目的とする各種入試制度の改革

【文学部・文学研究科】

- ①シニア層への教育の展開(「カレッジ型シニア住宅」)に提供する教育プログラム プレコースの実施)
- ②外国語検定試験単位認定者数200人の達成

【経済学部・経済学研究科】

- ①学部留学生推薦入学制度の実施
- ②「5年一貫(学部3年、修士2年)教育プログラム入学試験」の実施に伴う教育システムの充実(平成19年度実施)

【商学部・商学研究科】

- ①学部カリキュラム改革(5専修制導入、基礎教育の充実)
- ②KUBIC※1を利用した学部教育プランの展開

【社会学部・社会学研究科】

- ①学部創立40周年記念行事(“Sociology Next40”)プロジェクトの実施
- ②心理学専攻の2コース制の導入
- ③心理学専攻の早期卒業制度(平成20年4月開設予定臨床心理専門職大学院への進学)の導入

【総合情報学部・総合情報学研究科】

- ①学部カリキュラムの「系」分類への移行
- ②カリキュラムと連携した設備・機器整備の充実(コンテンツ指向実習科目と SINET 情報環境のマッチング)
- ③研究科 IT ベンチャーコンソーシアムの設置

【政策創造学部(平成19年4月開設)】

- ①キャリア教育の充実
- ②GPA※2の活用

【システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部(平成19年4月開設)・工学研究科】

- ①理工学府の設置
- ②理工学テクノサポートセンター(仮称)の設置
- ③理工学教育開発センター(仮称)の設置
- ④理工学プランニング室(仮称)の設置
- ⑤教員個人自己点検評価制度の導入(試行)
- ⑥研究科国際理工学教育研究プログラムの導入
- ⑦研究科社会人向け前期課程1年修了制度の導入
- ⑧研究科海外実習制度・アドバンスインターンシップ制度の導入と関係カリキュラム設置

【法科大学院】

- ①在学生の学習環境の拡充(アカデミック・アドバイザー制度の充実等)
- ②修士支援制度の整備

【会計専門職大学院】

- ①公認会計士試験対策の強化
- ②監査法人へのインターンシップの導入(課外教育活動)
- ③日本公認会計士協会実務補習指導要領を前提として、会計専門職大学院の学生が修得した授業科目を実務補習科目へ読み替えることができる制度を導入

【全学共通教育推進機構】

- ①全学共通教育推進組織改編の検討
- ②FD 活動※3の拠点となるセンター開設の検討
- ③就職を希望する学生を支援するセンター開設の検討

【入試センター】

- ①学部入試における多様な制度の充実
- ②大学院入試の重点的整備など入学試験制度改革
- ③ネットレスセミナーの開催など高大連携の推進

【図書館】

- ①図書館システムの更新
- ②アウトソーシングの見直し

【博物館】

- ①博物館常設展示室の見アウト全面変更

【国際交流センター】

- ①「関西大学日本・EU 研究センター」における重点研究の推進
- ②静宜大学特別留学プログラムの導入
- ③認定留学制度の柔軟な運用の導入
- ④Japanese Studies 科目の充実

【先端科学技術推進機構】

- ①ハイテク・リサーチ・センター整備事業2件、学術フロントティア推進事業1件の申請
- ②大阪医科大学との医工連携共同研究の推進

【法学研究所】

- ①学術フロントティア推進事業の申請

【人権問題研究室】

- ①「教科書問題」に関する国際シンポジウムの開催
- ②障害者関係学生ボランティア養成のための研究着手

【社会連携推進本部】

- ①イノベーション創出に向けた産学官連携の拡大・充実
- ②研究成果の権利化、技術移転の対応
- ③大学・地域の組織的・戦略的な対応の強化
- ④包括協定を締結した各自治体との地域連携事業の拡大・充実

【高等学校・中学校】

- (1)本校の特色を見据えたカリキュラムの検討とそれを踏まえたシラバスの整備
- (2)10年一貫教育の中で中・高・大連携の充実・強化
- (3)スポーツ推薦入学制度の拡充・整備案の策定
- (4)教科学習への情報教育の活用
- (5)生徒の安全確保に関する取り組みの推進

【幼稚園】

- (1)幼稚園活性化プランの推進
- (2)幼稚園安全(危機管理など)対策の整備・充実
- (3)園舎の総合的改修・改築の検討

中期4年の計画(平成20年度～平成23年度)

【経営】

- (1)高槻新キャンパス構想の推進(平成22年4月開設)
- (2)学校法人福武学園(北陽高等学校)との合併(平成20年4月実施)
- (3)大学教育職員の定年制度改革(平成20年4月導入)
- (4)高等学校・中学校教諭の定年制度改革(平成20年4月施行)
- (5)全学 IT トータルシステムの構築(平成23年3月完成)
- (6)キャンパスブランドデザインに基づく学内施設の戦略的整備
 - ①第2学舎2号館(経済学部、商学部等が使用)建て替え(平成20年度建築実施)

【大学】

- (1)教学ガバナンスの再構築(平成20年度導入)
- (2)全学共通科目の充実(平成20年4月導入)
- (3)教育研究の充実による人的基盤の強化(教員配置・教員数等の見直し)(平成20年度実施)
- (4)緊急時体制の確立(平成20年度導入)
- (5)GPA 制度の導入(平成20年度)
- (6)高大接続パイロット校の拡充(平成20年度完成)
- (7)心理学研究科(臨床心理専門職大学院含む)の設置(平成20年4月開設予定)
- (8)留学生別科の設置検討
- (9)機関リポジトリ※4の構築(平成19年度導入、20年度完成)
- (10)学部・大学院・機構・センターの改革

【法学部・法学研究科】

- ①法社会学を生かす専門的力を涵養するための学部カリキュラム改革(平成20年度導入)
- ②新しい法学部のあり方に対応した学部教育体制の抜本的見直し(平成22年度実施)
- ③早期卒業制度(学部3年、修士2年)の検討(平成21年度に結論を出す)
- ④平成17年度開始の研究科新カリキュラムの検証と改善(平成22年度完了)

【文学部・文学研究科】

- ①シニア層への教育の展開(「カレッジ型シニア住宅」)に提供する教育プログラムの運営(平成20年度)
- ②学部改組の検討

【経済学部・経済学研究科】

- ①各種入試による受け入れ学生に対応した指導体制の確立(個々の能力に応じた潜在的多機能開発)(平成20年度実施)
- ②学部におけるインターフェース FD の充実(他大学経済学部学生とのアカデミック・ディベート)(平成19年度試行的実施、平成20年度本格実施)
- ③学部教育の国際化戦略の検討(語学研修と海外現場体験学習の単位認定制度)(平成20年度実施に向けて)
- ④早期卒業(学部3年、修士2年)の検討(平成20年度実施)
- ⑤研究科カリキュラムの改革(学部カリキュラムとの有機的連携)(平成22年度実施)

【商学部・商学研究科】

- ①KUBIC※1を利用した高大連携、地域・社会連携の推進(平成21年度実施)
- ②学部アカウンティング教育の充実(平成22年度導入)
- ③研究科の組織改革(教員組織の充実)(平成20年度導入)

【社会学部・社会学研究科】

- ①専攻間コースの新設(平成20年度段階的導入、平成22年度全面導入)
- ②専攻内プログラムの充実・新設(平成20年度導入完了)
- ③学部新カリキュラムの導入(平成20年度導入完了)
- ④研究科の改編・新コース導入(平成20年度導入)

【総合情報学部・総合情報学研究科】

- ①学部カリキュラムの充実(導入科目「Enjoy Computing」の点検・充実、導入ゼミの実施、平成20年度)、(実習科目の系統的な整備、平成20～21年度)
- ②移動型映像配信サテライトの配備(平成20年度)
- ③地域連携への展開と社会貢献(高槻市民向け映像指導教室や高槻市民映像祭など)(平成21年度)
- ④博士後期課程の充実(情報バイオニアを生み出す人材教育の徹底)(平成20年度)
- ⑤競争的資金の継続的獲得(平成20年度)

【政策創造学部】

- ①政策学研究科(仮称)の設置(平成21年度開設予定)
- ②DD(デュアル・ディグリー)制度の導入(平成23年度)
- ③ゼミナールの充実(フィールドワーク、プロジェクトゼミ、インデペンデントスタディ)(平成20年度)

【システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部・工学研究科】

- ①学部早期卒業制度の導入(平成20年度)
- ②理工学府の改編(平成21年度)
- ③大学院早期修了制度の導入(平成20年度)
- ④研究科企業支援理工学教育研究プログラムの導入(平成20年度)
- ⑤研究科近隣研究機関連携理工学教育研究プログラムの導入(平成20年度)
- ⑥研究科専攻・分野体制の第2次再編(平成21年度)
- ⑦研究科カリキュラムの第2次改革(平成21年度)
- ⑧大学院5年一貫制「イノベーション工学専攻(融合領域工学専攻)」(仮称)の設置(平成21年度)

【外国語教育研究機構・外国語教育学研究科】

- ①海外の大学院との提携実施(平成20年度)

【法科大学院】

- ①新司法試験に向けた学習支援の強化(平成20年度実施)
- ②遠隔地法律相談等の事業の継続・発展(平成20年度まで継続)

【会計専門職大学院】

- ①監査法人へのインターンシップの導入(正規授業科目)(平成20年度)
- ②第三者評価事前評価(平成20年度)、本評価(平成21年)(学生センター)

【学生センター】

- ①学生文化および学生スポーツのフロントランナーの育成
- ②奨学金制度の整備・充実
- ③学生生活に関するセーフティネットの構築
- ④学生センターの意思決定システムの再編・整備(平成20年度)

【入試センター】

- <入試制度改革>
 - ①学生募集に関わる中長期ビジョンの確立
 - ②危機管理体制の整備・充実(平成21年度)
 - ③大学院学内入試制度の総合的見直し(平成21年度導入)
 - ④入試センターにおける大学院入試の制度化、規程化(平成21～22年度導入)
 - ⑤入試センターのアドミッション・オフィス化の検討
- <高大連携の推進>
 - ①Web を利用した高大連携事業(コンテンツ)の展開(平成21年度開始)
 - ②学校インターンシッププログラムの継続展開(平成21年度開始)
 - ③大学と一高との高大接続プログラムの展開(平成20年度)

【キャリアセンター】

- <キャリア支援の推進>
 - ①「総合大学における標準型キャリア教育の展開」(平成18年度現代 GP 採択)の継続展開(平成18～20年度)
 - ②各種資格取得試験等の支援機能の統合(平成20年度開設)
 - ③ポートフォリオによる自己開発システムの導入(平成20年度導入)

【図書館】

- ①学部資料室運営の整備(平成20年度導入)
- ②書庫の狭域化解消(平成21～22年度)
- ③電子図書館の推進(平成22年度導入)

【博物館】

- ①バーチャル・ミュージアム構想の推進

【ITセンター】

- ①先進的 IT 基盤の実現と運用(平成21～22年度完成)
- ②教育・研究・社会貢献のためのきめ細かな Web 環境の実現(平成20～21年度運用開始)
- ③e ラーニング・知的コンテンツ基盤整備(平成20～21年度運用開始)
- ④人材の育成(情報政策統括責任者 CIO、IT エキスパートの育成)(平成20～21年度運用開始)

【国際交流センター】

- ①協定大学拡大プロジェクト(全50大学 平成21年度完成)
- ②1,000人派遣プロジェクト(平成20年度導入)
- ③短期語学セミナー拡大(スペイン語等)(平成20年度導入)
- ④GK(Globalizing Kandai)構想 Phase II プロジェクト(平成21年度導入)

【経済・政治研究所】

- ①関西大学シオネット戦略研究センターおよび政策グリッドコンピューティング実験センターとの連携事業の展開

【東西学術研究所】

- ①アジア文化交流研究センター(CSAC)事業の推進(平成17～21年度)
- ②若手研究者の育成と教育機能の強化(平成20年度実施)

【先端科学技術推進機構】

- ①国立循環器病センター、産業技術総合研究所などの共同研究推進(平成20年度)
- ②大阪医科大学、大阪薬科大学との医工連携共同研究推進(平成20年度)

【人権問題研究室】

- ①「アジアにおける女性」国際シンポジウムの開催(平成22年度)

【社会連携推進本部】

- ①首都圏における産学官連携事業の推進(平成20年度実施)
- ②国際的な産学官連携(平成20年度導入)
- ③産学連携・地域連携活動拠点の拡大(平成20年度導入)
- ④外部資金の積極的導入(平成20年度導入、21年度拡大)

【高等学校・中学校】

- (1)多様な中高入学制度の検討と生徒の能力を活かした卒業見込者選抜(内部進学)制度の協議(平成20年度学生募集)
- (2)英語、漢字、数学、その他検定テストおよび学習面での外部評価の積極的導入(平成20年度導入)

【以上】

以上の行動計画を着実に実現するとともに、経営ならびに教学に関する基本方針に掲げた重要事項のうち、行動計画の策定に至っていない事項についても、早期にその具体化・施策化を図ることにより、「強い関西大学」の構築を推進していくこととする。

以上

※1 KUBIC: 関西大学ビジネスプラン・コンペティション-Kansai University Blz plan Competition); 商学部創立100年を機に始まった学部行事。全国の高校生、大学生からビジネスプラン(事業企画書)を募集し、所定の審査を通過した応募者が、本選プレゼンテーション大会で優勝・準優勝を競うもの。

※2 GPA 制度: GPA(Grade Point Average)とは、全履修科目を対象に成績評価(不合格・不受験を含む)を数値化し平均した値で、これを学習指導や成績優秀者の選出などに活用し、学生の学習意欲の向上に役立てることを目的とした成績評価制度。

※3 FD 活動: Faculty Development の略で、教育環境や教員の教え方を改善していく組織的な取り組み。

※4 機関リポジトリ: Web上の電子書庫で、大学の学術研究成果である知的生産物(学術論文、学位論文、紀要論文、ワーキングペーパー、研究報告、教材、図書、特許情報等)を電子的に収集・保存し、蓄積し、Webにより学内外に広く公開するもの。

第36回関西大学吹田市民講座 (事情により内容に変更が生じる場合があります。)

本学と吹田市教育委員会は、「関西大学吹田市民講座」(前期)を4コース20テーマで共催します。会場は、木曜日(千里山キャンパス 新関西大学会館北棟1階多目的ホール、金曜

日は南千里の吹田市立千里市民センター3階大ホール。広く一般社会人の受講を歓迎します。問い合わせは、リードセンター千里山キャンパス事務室(06-6368-0721)まで。

公開講座

※関西大学おさか文化セミナー、関西大学公開講座(高槻市)については4月から、関西大学吹田市民講座については5月から申込受付を開始していますので、定員に達している場合があります。その他の講座も定員に達し次第締め切ります。

開催日	テーマ	講師
七月 六日(金)	ストレスと心の健康	社会学部教授 寺嶋繁典
六月 二十九日(金)	子どもの心を育む子育て	非常勤講師 石田陽彦
六月 二十二日(金)	子どもを対象にした心理臨床	社会学部准教授 北村由美
六月 十五日(金)	心の健康を保つには	社会学部准教授 岡田弘司
六月 八日(金)	心の病を理解する	社会学部教授 飯田紀彦

※時間は十三時~十四時三十分

【社会】▼「心を育む子育てと心身の健康」

開催日	テーマ	講師
七月 六日(金)	国際理解教育の実践から	文学部准教授 山ノ内裕子
六月 二十九日(金)	人権教育から見た「教育改革」	文学部教授 田中欣和
六月 二十二日(金)	「教育改革」と格差社会の進展	文学部教授 竹内洋
六月 十五日(金)	「ゆとり教育」の清算と子どもの学びの劣化	文学部教授 玉田勝郎
六月 八日(金)	「教育改革」の動向を概観する	文学部教授 赤尾勝己

※時間は十三時四十分~十四時三十分

【教育】▼「教育改革」と学びの再生

開催日	テーマ	講師
七月 五日(木)	志賀直哉作品に見る父と子	文学部准教授 増田周子
六月 二十八日(木)	「江戸の世の親子愛」	文学部教授 藤田真一
六月 二十一日(木)	ことばから見た親子関係	文学部教授 遠藤邦基
六月 十四日(木)	「孝」と親子愛	文学部教授 山本登朗
六月 七日(木)	能・狂言に見る親と子	文学部教授 関屋俊彦

※時間は十三時~十四時三十分

【文学】▼「日本文学に見る親と子」

開催日	テーマ	講師
七月 五日(木)	台湾の歴史と旅	文学部教授 大谷渡
六月 二十八日(木)	イスラーム世界の文化遺産	文学部教授 新谷英治
六月 二十一日(木)	「アシア」のなかのポルトガル文化遺産	文学部教授 野間晴雄
六月 十四日(木)	正倉院御宝物と仏教信仰	文学部教授 西本昌弘
六月 七日(木)	田園都市千里山住宅地「の夢とその後」	文学部教授 森隆男

※時間は十三時四十分~十四時三十分

【歴史】▼「文化遺産と文化景観—その魅力と可能性」

第9回関西大学公開講座(高槻市) (事情により内容に変更が生じる場合があります。)

本学と高槻市立生涯学習センターは、「関西大学公開講座(高槻市)」(前期)を一般社会人を対象に次のテーマで共催します。会場は高槻市立生涯学習センター。問い合わせは、リードセンター千里山キャンパス事務室(06-6368-0721)まで。

開催日	テーマ	講師
五月 二十六日(土)	食べもの好講腹話	法学部教授 山野博史
六月 二日(土)	静かな革命—食をめぐる変化がもたらしたもの—	社会学部教授 社会学部新自
六月 九日(土)	大阪の食—源流をたずねて—	元大阪府立食とセンターの総合技術 森下正博
六月 十六日(土)	点心和茶—宗教が連れた文化—	文学部教授 大野島薫
六月 二十三日(土)	器くみるヨロツバの食文化—景徳鎮・伊万里からマイセンへ—	文学部教授 浜本隆志

※時間は十四時~十五時三十分

【食】をむとく

第27回関西大学おさか文化セミナー (事情により内容に変更が生じる場合があります。)

本学と大阪府立文化情報センターは、「関西大学おさか文化セミナー」(前期)を一般社会人を対象に次のテーマで共催します。会場は天六センター。問い合わせは、リードセンター千里山キャンパス事務室(06-6368-0721)まで。

開催日	テーマ	講師
五月 二十九日(火)	大阪の「いま」と「未来」をつなぐ—展望—	政策創造学部教授 亀田健二
六月 五日(火)	商いがつくる、ひとつのつながり	社会学部准教授 三谷真
六月 十二日(火)	世界とつながる都市・大阪	政策創造学部教授 奥和義
六月 十九日(火)	まちをつくる、大阪の住まいと暮らし	環境都市工学部准教授 岡田理子
六月 二十六日(火)	80年と街をつなぐ—市バス開業と暮らし—	社会学部教授 安部誠治

※時間は十八時二十分~二十時

▼「大阪のひと、街、暮らしをつなぐ」

第33回飛鳥史学文学講座

本学と地域連携協定を結んでいる明日香村と関西大学飛鳥文化研究所が共催で、日本の歴史を多面的にとりあげた「飛鳥史学文学講座」を開催します。会場は、明日

香村中央公民館(奈良県高市郡明日香村)。受講料は年額5,000円・当日のみ受講は1,000円(テキスト代含む)。問い合わせは教育後援会(06-6368-0055)まで。

開催日	テーマ	講師
四月 十五日(日)	正倉院宝物の源流をさぐる	文学部教授 高橋隆博
五月 十三日(日)	東洋の絵画—絵画史における古代・中世・近世—	名教授 山岡泰造
六月 十七日(日)	「土農商」の歴史と口学	経済学部教授 濱野野潔
七月 八日(日)	伝播する地理思想—石敢當を事例として—	文学部教授 高橋誠一
八月 五日(日)	飛鳥周辺の王宮について	文学部教授 西本昌弘
九月 九日(日)	天武の香の物語—巻1・四五・四九番歌について—	文学部教授 大演真幸
十月 七日(日)	「歴史家」司馬遷—歴史書としての「史記」—	文学部教授 田中登
十一月 十一日(日)	「歴史家」司馬遷—歴史書としての「史記」—	文学部教授 藤田高夫
十二月 九日(日)	「漢委奴国」点検—「キリスト」の点検—	名教授 奥村郁三
平成 二十年 一月 二十日(日)	金剛丈夫先生のこと	法学部教授 山野博史
二月 十日(日)	古代の冶金術—青銅製仏像や梵鐘などの作り方—	化学生命工学部教授 赤松勝也
三月 九日(日)	二つの長崎—唐館・蘭館—大庭脩先生の遺したもの(2)—	文学部教授 藪田貴

※時間は十三時三十分~十五時三十分

新東京センターで初のセミナー 企業の関係者を中心に140人が参加



多数の参加者で熱気にあふれる会

社会連携推進本部主催 「関西大学技術交流セミナー」開催

東京センターがJ R 東京駅日本橋口に隣接するサピアタワー9階に移転後、初のセミナーとなる「関西大学技術交流セミナー」が4月13日に開催された。森本靖一郎理事長および河田悌一学長の挨拶に続いて、越智光一化学生命工学部教授(副学長・社会連携推進本部長)が「接着における新技術—新しい機能性接着剤で何ができるか—」をテーマに講演、企業関係者を中心に約140人の参加により盛会となった。同セミナーは、来年3月まで毎月1回(全11回)の開催を予定している。詳細は本学ウェブサイトの「社会連携推進本部」を参照のこと。問い合わせは社会連携センター事務室(06-6368-1245)。(社会連携推進本部)

人権問題研究室公開講座

人権問題研究室では、研究成果を学内および社会に広く還元し、大学内外における人権意識の向上に寄与するため、学生・教職員・一般市民を対象に公開講座を開催する。会場は、千里山キャンパス尚文館マルチメディアAV大教室、問い合わせは人権問題研究室(06-6368-1182)まで。

開催日	テーマ	講師
五月 二十五日(金)	「結婚差別ののりこえ方」をかんがえる	文学部教授 田中欣和
六月 二十二日(金)	ドイツの外国人問題	文学部教授 佐藤裕子
十月 二十六日(金)	生活支援「学への期待」実践的な学術的解決のために	システム理工学部准教授 倉田純一
十一月 十六日(金)	ベールの下の素顔	委嘱研究員 金谷千穂子

※時間は十三時~十四時三十分

電子ジャーナル創刊 記念シンポジウム開催

3月30日、ソシオネットワーク戦略研究センターにおいて、「The Review of Socionetwork Strategies」発刊記念シンポジウムが開催された。ニューヨークと東京をテレビ会議システムで結び、8研究機関から参加した35人が活発な議論を交わした。河田悌一学長挨拶の後、経済ネット

ワーク戦略研究班、企業ネットワーク戦略研究班、社会基盤ネットワーク戦略研究班から、過去5年間の成果報告があった。総括討論「若手研究者大いに語る」では、センター出身の若手学者5人が発表し、最後に、深田良治シュプリンター・ジャパン代表取締役の講演「電子ジャーナル発刊の学術的意義」において、日本初の完全電子査読学術誌の披露があった。(ソシオネットワーク戦略研究センター長・総合情報学部教授 嶋飼康東)

その国で暮らして学ぶ言葉・文化

7 コース計 190 人を募集集中

夏期語学セミナー 締め切りせまる

本学では、夏季休業期間、教職員も同行し、現地での生活をサポートする。セミナーには二単位が与えられる(入年度・学部・学号・アドレスで五月二十二日(火)へ英語セミナー、五月二十九日(火)へ英語セミナー以外で受付中。

人権意識を高めよう 講演会など開き啓発

本学ではすべての構成員の人権意識を高めるため、学内外関係者の協力を得て、さまざまな行事を行っている。毎年春・秋の二回実施する本学独自の人権啓発

受賞

○月刊「水」発行所 第三十回月刊「水」賞 環境都市工学部教授 和田 安彦 (平成十九年四月九日)

ラトビアの女性合唱団 本学「ひびき」とジョイント



四月十八日、総合学生会館メデアバク 凜風館 ノアにて、ラトビア共和国女性合唱団「レノ」と、文化会混声合唱団「ひびき」によるジョイントコンサートが開催された。合唱団「レノ」は、ギリシャで開催された第十回宗教合唱の国際コンクールで銅メダルを受賞したグループで、今回演奏を通じた国際交流として本学を訪れた。当日は、ラト

勝利のシンボル 千成瓢箪を新調 応援団 豊國神社で入魂式

四月五日、応援団は新調したシンボル(第四代千成瓢箪)の入魂式を大阪市内の豊國神社で行い、学生をはじめとした観客が魅了された。



高槻の風

高槻キャンパスでは五月二十七日(日)に「高槻キャンパス祭」を開催する。このキャンパス祭は本学の学生はもちろん、多くの卒業生や地域住民などに参加してもらう機会であり、毎年四千人を超える参加者で



大盛況である。【Comin.】と題した

5月27日

高槻キャンパス祭

テーマは Comin.!!

今年のテーマは、「Comin.!!」と題した多くの人がと参加(Comin.!!)してもらいたい」という願い。今年も、クイズ番組の開設開放も予定されている。

課外活動行事予定 (5/18~6/14)

- ◆ハンドボール部 関西学生ハンドボール春季リーグ戦 (対大体大、大教大、武庫女大) 5/18(金)・19(土)
◆バスケットボール部 全日本ジュニア総合馬術選手権大会 5/25(金)~27(日)
◆サッカー部 第50回関西学生総合馬術大会 5/26(土)~6/3(日)
◆野球部 関西学生野球六大学2007春季リーグ戦 (対京都大) 5/19(土)・20(日)

新刊の扉
多賀出版・定価五千五百(のバラダイム)
○文学部教授 伊藤 誠宏
『17世紀フランス文法家証言集』(平成十九年三月二十日)
『現代文学と個性』(平成十九年三月二十日)

関大通信 第344号

平成19年(2007年)5月18日
大阪府吹田市山手町3-3-35
http://www.kansai-u.ac.jp/
次号は6月15日発行の予定です

拳法部

今期絶好調の辻本

拳法部主将の辻本悠祐選手(文4)の得意技は、面蹴り。足の甲の外側で顔面防具と首の間を狙って、相手に気取られずいかにすばやく蹴り上げるかがポイント。今期は、西日本学生拳法選手権大会で男女ともに団体優勝。辻本選手は、最優秀選手賞のタイトルを獲得した。高校時代からはじめた拳法キャリアにおいて初の栄冠を勝ち取り、調子も右肩上がり。関学にも得意の面蹴りを決めるぞ!

(法学部4年次生 主務 秦 佑樹)



今年もまた、「関関戦」で熱くなる季節がやってきた。昭和五十三年から本学と関西学院大学の両校が全クラブを統一して同じ日程、同じ場所で開催を繰り返す「総合関関戦」。三十回目となる今年も、敵地・関学上ヶ原キャンパスが戦いの場となる。昨年は二十二勝十敗二分と大勝し、四年振りに総合優勝を果たした。これまでの通算成績は十五勝十四敗と本学がリード。アウエーといえど今年も関学に「強い関大」を見せつけてほしい。

アーチェリー部

エース石井が精神力で圧倒

毎日練習三昧の日々を過ごす石井是選手(社1)は、世界選手権への最終選考に残る本学アーチェリー部さつての強豪。2分間に3本、3時間で計72本の矢を放つアーチェリーでは、精神力と体力の両方が要求されるが、3月に竣工した養心館という専用練習場を備えた今期、石井の姿を見ない日はない。圧倒的な練習量と精神力を兼ね備えたエースを先頭に、昨年の雪辱を果たす準備は万全だ。

(商学部4年次生 主務 大西 杏奈)



野球部

主将・伊藤の一振り

関大脅威のクリーンアップトリオに続く、6番・伊藤貴美選手(文4)は、今年・昨年のリーグ戦でみせた逆転3ランホームラン、代打逆転満塁ホームランと、ここ一番の勝負強さが自慢の外野手だ。主将として、レギュラーを鍛えるのはもちろんのこと、レギュラー外の選手への気配りも忘れない彼の野球哲学は、「野球をするためには、野球だけではだめだ!」の一言に集約される。宿敵である関学との一戦、新たなドラマを見逃すな。

(経済学部3年次生 主務 影山 悠太)



バドミントン部

コートいっぱい高須賀が駆け巡る

コートを駆け回るスタミナと相手を翻弄する頭脳の両方を兼ね備えたバドミントンプレイヤー・高須賀大輔選手(工3)にオフはない。テスト期間中にも欠かさず走りこみと中央体育館のマシンを使った筋力トレーニング。小柄な体型を活かした小回りのさくプレーで、長身の相手を前後に揺さぶる試合は必見だ。関西リーグ新人賞というタイトルをもつ高須賀を筆頭に、昨年に引き続き関学を下す。

(商学部4年次生 主務 山元 雄揮)



アイスホッケー部

鈴木コーチの指導で必勝体制

アイスホッケー界で、鈴木宣夫と言えばサッカーのキャプテン、野球のイチローと言っても過言ではないスタープレイヤー。その鈴木氏が、わがアイスホッケー部のコーチに着任するとは、にわかに信じられなかったのが、数カ月前の正直な思いだ。関西大学アイスアリーナが完成し、リンクでの練習が毎日可能な環境に加え、鈴木氏というスターをコーチに迎え、日本一も夢ではなくなった今、興奮と心地よいプレッシャーの中でチームのコンディションは万全。関関戦での負け試合は考えられない。

(社会学部4年次生 主務 神田 浩平)



アメリカンフットボール部

明るい主将坂田の堅守

ウッドベッカーとは、おしゃべりで有名なあのベッカムのあだ名だが、負けず劣らず明るく饒舌ながらアメフト部主将坂田仁志選手(社4)。ディフェンスの要であるラインバッカーを務める坂田は、相手オフェンスとのマンツーマンを得意とし、長身の彼はリーチを活かして、パスコースへの侵入を防ぐ。アメフトならではの激しいプレー、勇気あるプレーは必見。主将でもある坂田選手を中心として、チーム力で関学に挑む。

(経済学部4年次生 主務 櫻間 啓之)



卓球部

中国スタイルの柘屋

昨年、中国への卓球留学を果たした柘屋康介選手(文3)は、何に對しても前向き、意欲たっぷり挑んでいくがんばり屋だ。留学先では、専修である中国語の習得にも励み、卓球のスキルはもちろん、同じ目的を持った多国籍な学生たちと触れ合う環境で、精神的にも大きく成長して帰国を果たした。両面ラバー、ペンホルダーのラケットから放たれる裏面フリックと、変幻自在なサブテクニクは中国スタイルだ。学生タイトルはもちろん世界を念頭にプレーする柘屋を筆頭に、関学に圧勝すること間違いない。

(経済学部4年次生 主務 湯浅 昌彰)



総合関関戦を応援に行こう
関西学院大学上ヶ原キャンパスなどで6月14日から3日間
節目の第30回大会「強い関大」連覇めざす

試合日程

前哨戦(5月18日以降のみ)

- 5月27日.....陸上競技
5月27日.....水上競技
6月2日.....ハンドボール
6月2・3日.....弓道
6月8日.....自動車
6月9・10日.....ヨット

第1日/6月14日(木)

開会式
アイスホッケー、サッカー、ソフトテニス、テニス、バスケットボール、野球、レスリング

第2日/6月15日(金)

アメリカンフットボール、ゴルフ、バドミントン、バレーボール、陸上ホッケー

第3日/6月16日(土)

合気道、アーチェリー、空手道、器械体操、剣道、拳法、古武道、射撃、少林寺拳法、相撲、漕艇、卓球、なぎなた、軟式野球、馬術、フェンシング、ラグビー
閉会式

四月に松が華やかに咲いていた時期も終わって、新緑が芽生え、日ごとにより力強い緑に変わって来ている。桜の花と共に咲いた諸君が勉学やクラブ活動、友人との懇親を通じて、新たな芽生えを感じ始めていることと、緑がより濃くなっ

一にしていくこと。リズムを一つにしていく。
本号の特集記事では、本学のキャリアサポートに対する取り組みを紹介した。木々も一年の四季に合わせた変化を見せるのと同時に、年々を積み重ねて成長して、大学に入學し、新緑を芽吹かせ始めた新入生をはじめに経験の積み重ねにより濃い緑へ、より大きな幹と枝へと成長していくと同時に、今後のキャリアをじっくりと考える五月となることを願っている。
(廣田 俊郎)

今月の表紙
宮下 真一(みやした しんいち) 准教授
専門はサブライフェーションの研究。今後は、交通と流通の境界領域を融合させた物流システム研究に取り組み予定。主論文に、「需給チェーン・システムの事例分析」、「流通在庫から見た、サブライフェーションの構造変化分析」など。



編集後記